

PhotoManager と出来形マネージャのデータ連携

PhotoManager で作成したデータがあれば、工事名称などの工事情報はもちろん、工事ツリーのフォルダ構成、検測種別、検測項目などを出来形マネージャに取り込むことができます。

また、双方のデータをリンクさせることができるので、一方のシステムで編集した内容をもう一方のシステムに簡単に連動させることができます。

連携の必要条件

PhotoManager のデータを出来形マネージャのデータに読み込ませる（連携させる）には PhotoManager で下記の条件を満たしていただく必要があります。

（出来形マネージャから個別に写真を選択して連携をさせる場合は、 ・ ・ は必要ありません。）

- ・ **読み込ませる写真が「細別」フォルダに入っている**

- ・ **写真タイトルが入力されている**

読み込み後に出来形マネージャで検測種別名となります。

- ・ **撮影箇所が入力されている**

読み込み後に出来形マネージャで測点名となります。

- ・ **施工管理値(表)が入力されている**

読み込み後に出来形マネージャで項目名や設計値・実測値となります。

また連携中は、双方で項目名が一致する設計値・実測値のデータが連携します。あとから項目名を変更して一致しなくなった場合は、設計値・実測値は連携しなくなります。

連携の際の注意点

連携を行うと、常に PhotoManager のデータが優先されます。

連携中は PhotoManager のデータが出来形マネージャに反映されますので、既にデータを入力済みの出来形マネージャのデータを使用し、連携を行う場合は、PhotoManager のデータで上書きされてしまいますのでご注意ください。

PhotoManager からの連携方法

PhotoManager を起動し、出来形マネージャのデータと連携を行います。出来形マネージャは起動していない状態で作業を行います。

写真一覧画面で写真をダブルクリックし、[写真情報]ダイアログを表示します。



ボタンをクリックします。

出来形マネージャの[メニュー（工事の選択）]ダイアログが表示されますので、連携させるデータを選択します。

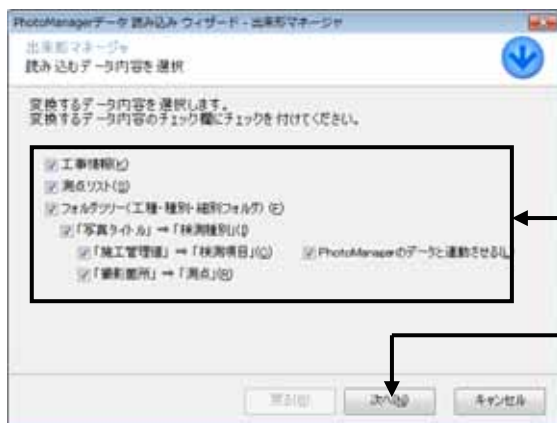


1. 一覧から PhotoManager と連携させる出来形マネージャのデータを選択します。

「新規作成」を選択すると、連動する出来形マネージャのデータを新規に作成します。

2. [開く]ボタンをクリックします。

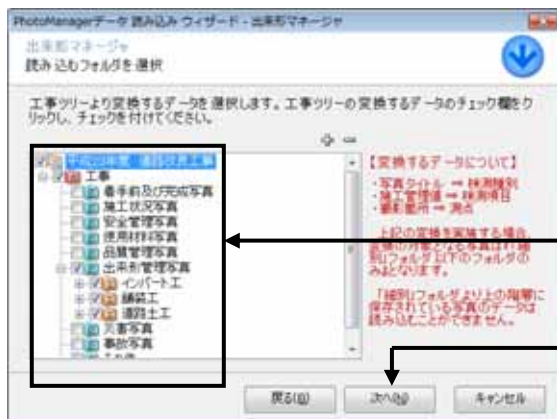
読み込むデータの範囲を指定します。



1. 出来形マネージャが起動し、PhotoManager データ読み込みウィザードが表示されますので、読み込むデータの範囲を指定します。

2. [次へ]ボタンをクリックします。

読み込むフォルダを選択します。



1 .PhotoManager 側のどのフォルダを読み込むかチェックします。自動で「出来形管理写真」フォルダの写真データのみを読み込むようにチェックがつきます。

2 . [次へ] ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。



[次へ] ボタンをクリックします。

読み込む測点を選択します。



1 .読み込む測点にチェックを入れます。

2 . [OK] ボタンをクリックします。

出来形マネージャのデータとの連携を完了します。



[完了]ボタンをクリックします。

出来形マネージャに読み込んだ PhotoManager のデータが反映されます。



PhotoManager のデータと連携中は、画面の右上に写真が表示されます。

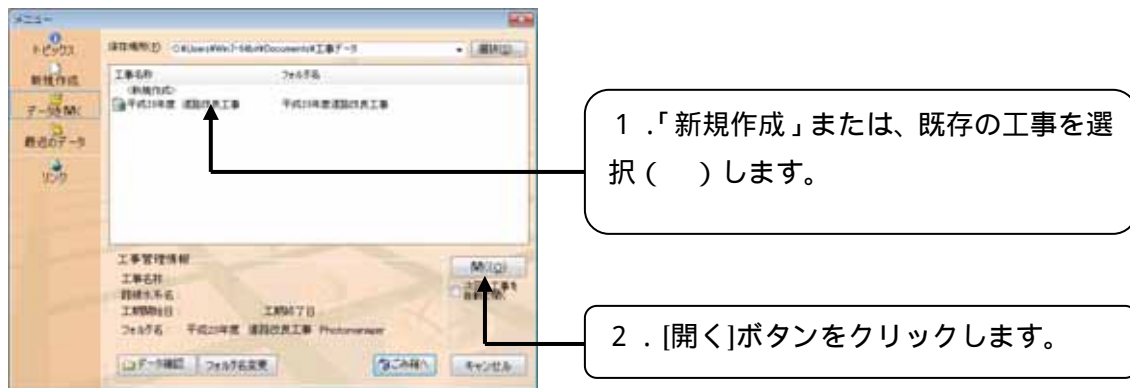


	連携する PhotoManager データを選択します。
	連携済みの PhotoManager のデータからリンクさせる写真を選択します。
	現在リンクしている PhotoManager の写真を解除します。
	現在リンクしている PhotoManager の写真の情報を表示します。
	写真を拡大・縮小表示します。
	現在の枠のサイズに収まる最大のサイズで表示します。

出来形マネージャからの連携方法

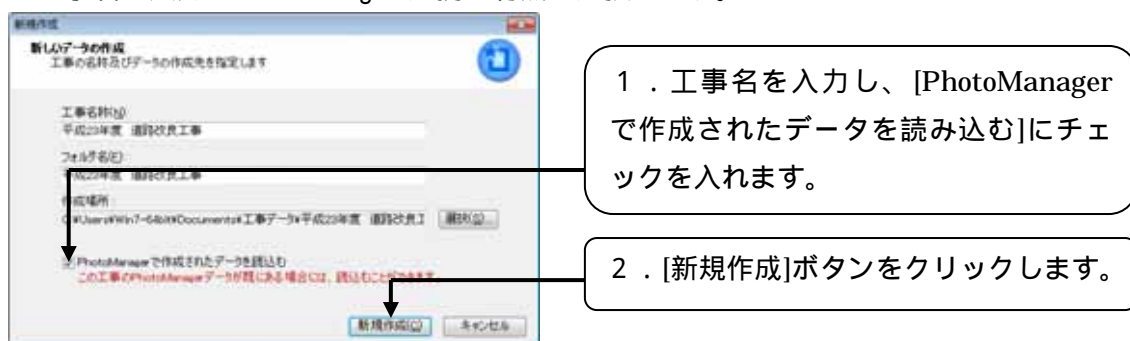
出来形マネージャを起動し、PhotoManager のデータと連携させます。

出来形マネージャの[メニュー（工事の選択）]ダイアログを表示します。

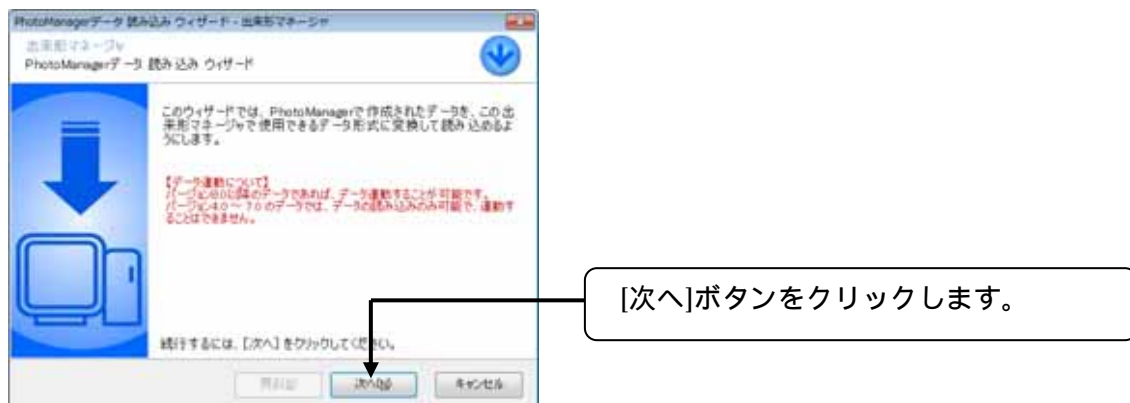


() 既存の出来形マネージャのデータの連携を行う場合は、連携させるデータを開き、ファイルメニューの「PhotoManager データ読み込みウィザード」から行えます。

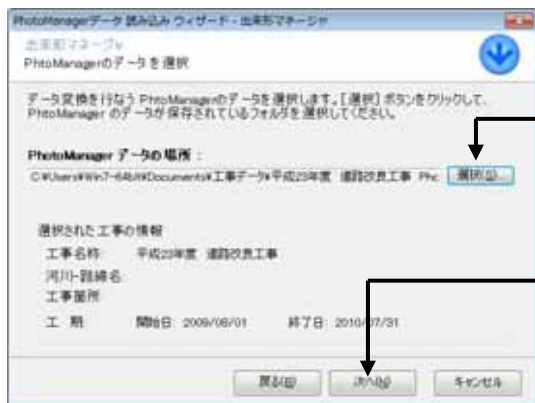
工事名の入力・PhotoManager 連携の有無を選択します。



ウィザードを開始します。



連携する PhotoManager のデータを選択します。



1. [選択]ボタンをクリックし、連携する PhotoManager のデータを選択します。

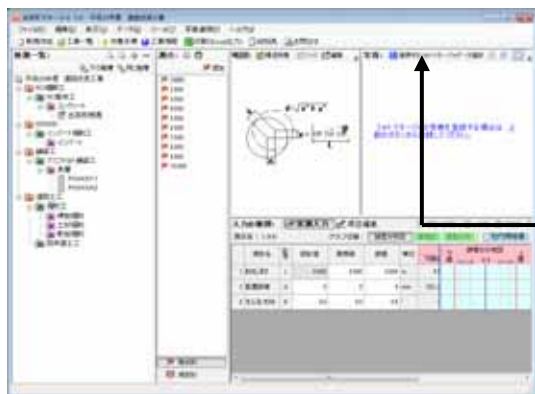
2. [次へ]ボタンをクリックします。

これ以降の作業は PhotoManager から連携を行う場合 からと同様作業となります。

個別に写真を選択し連携する

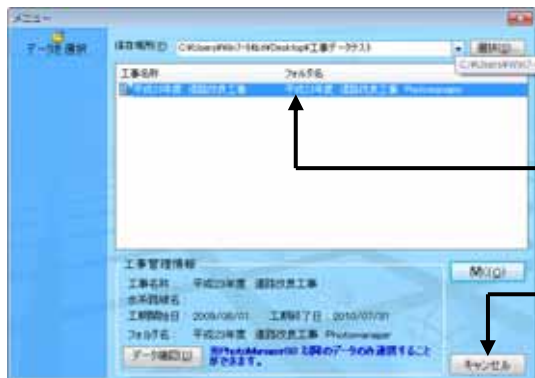
PhotoManager データ読み込みウィザードを使用せずに、出来形マネージャから PhotoManager の写真を個別に選択して、連携を行うことが可能です。この連携の場合の必要条件は、「 施工管理値（表）が入力されている」のみとなります。

出来形マネージャを起動し、連携させる構造物を表示します。



[連携する PhotoManager データの選択] ボタンをクリックします。

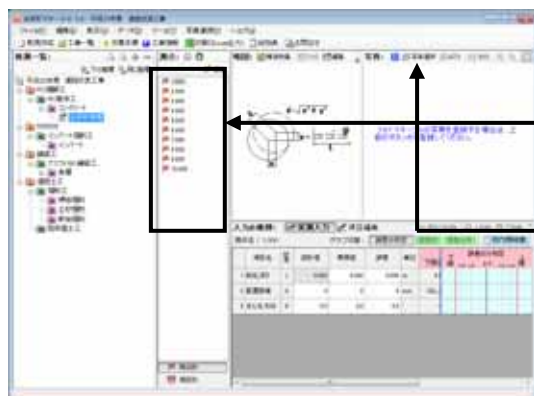
PhotoManager の[メニュー（工事の選択）]ダイアログが表示されます。



1. 連携する PhotoManager データを選択します。

2. [開く]ボタンをクリックし、データを連携させます。

データの連携が完了しましたので、続いて写真との連携を行います。



1．連携する測点を選びます。

2．[写真選択]ボタンをクリックします。

[連携する写真ファイルの選択]ダイアログが表示されます。



1．ツリーから連携する写真が入っているフォルダを選択し、写真を選択します。

この連携方法では、出来形管理写真の細別フォルダ以外からも写真を選択できます。

2．[現在の測点と連携]ボタンをクリックします。

PhotoManager の写真と連携されます。



PhotoManager の写真と連携され、写真が表示されます。